

お知らせ

記者発表資料 平成17年6月10日

提供先

島根県県政記者会、鳥取県政クラブ

水質事故多発警報発令について

斐伊川水系における水質事故発生件数について、平成12年度をピークに減少傾向にありましたが平成16年度は63件と過去最高を記録しました。

特に、平成17年2月から4月までは月平均10件とこれまでの平均4.2回/月を大きく上回っております。

今回は増加傾向にある水質事故を抑制するため斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会(会長 国土交通省出雲河川事務所長 内藤正彦)は水質事故多発警報を発令します。

平成17年5月31日に開催した水質事故部会では、水質事故に係る広報活動を積極的に行うことが重要と位置付け、今回の警報発令ということになりました。

平成16年度水質事故発生状況の原因別発生件数では交通事故、工場等の操作ミスが多く、原因不明も半数を占めています。

流域にお住まいの皆様も、安全運転に心がけていただくとともに、工場等の操作ミス等が発生しないよう注意をお願いします。

また、油類等が水路や河川に流出しないように、十分な対策を行うようお願いいたします。

なお、多発警報の解除は、平年並みの月件数に落ち着いた時点とします。

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会

問い合わせ先

国土交通省出雲河川事務所

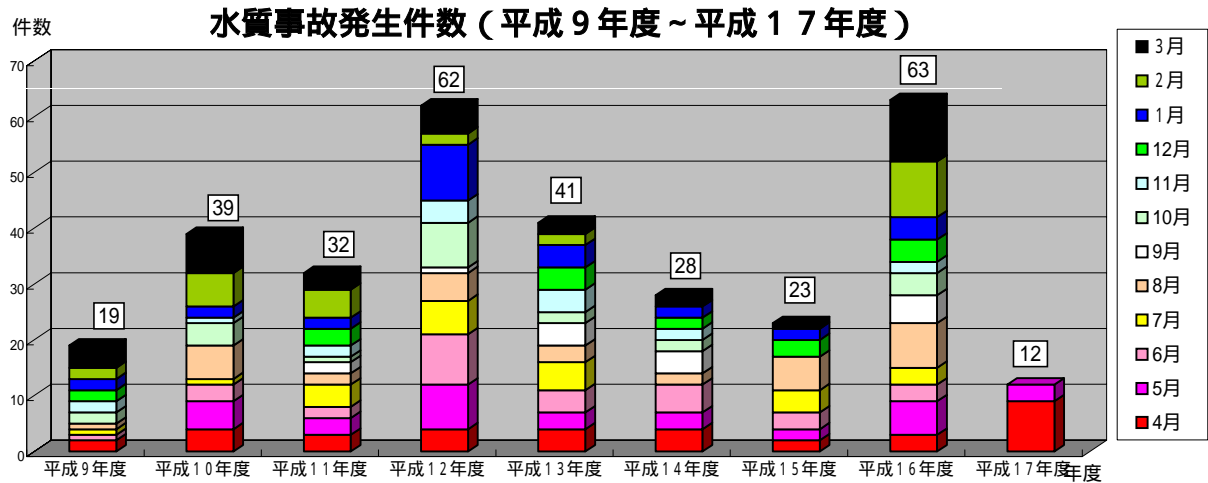
0853-21-1850

水環境課 水環境課長 湯浅(ゆあさ)(内線371)

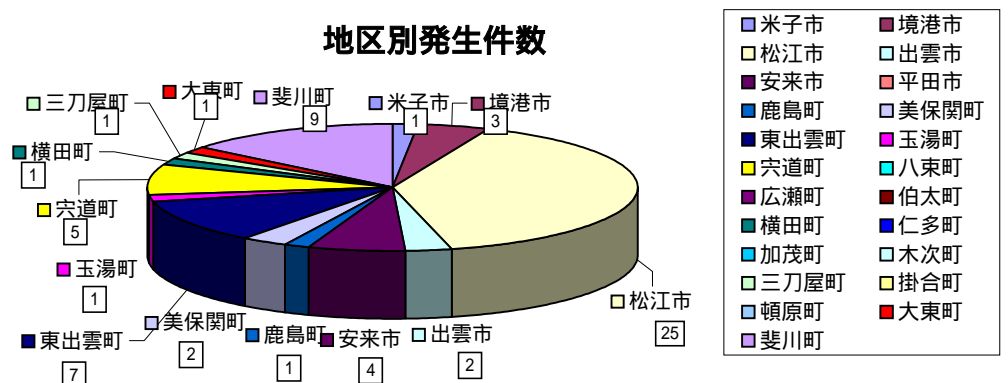
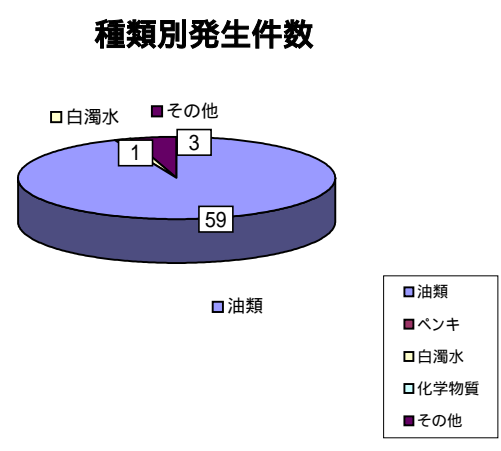
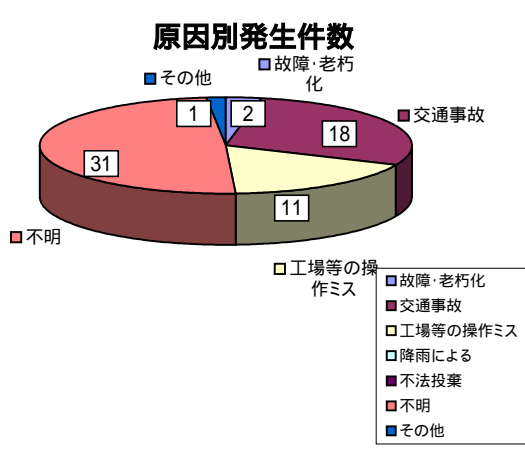
水環境係長 藤原(ふじはら)(内線372)

斐伊川水系 水質事故発生件数推移

斐伊川水系の水質事故発生件数は、平成9年度に19件、平成10年に39件、平成11年度に32件、平成12年度に62件、平成13年度に41件、平成14年度に28件、平成15年度は23件で平成16年度では63件でした。
 平成17年度は5月31日現在で12件の発生を確認しています。
 関係機関の迅速・適切な対応により水質事故の影響は最小限に抑制され実害報告はありません。



平成16年度水質事故発生状況（数値については件数を表す）



水質事故に関する考察
 事故原因物質は、油類の流出が殆どを占めています。
 事故発生原因は、工場や店等の操作ミスによる水質事故が多くなっています。
 平成15年度に比べ約3倍の63件と、平成9年度以降最多となっています。